

2024年茨城県クラブユースサッカー選手権 (U14) 大会

【大会要項】

- 1 名称 茨城県クラブユースサッカー選手権 (U14) 大会
- 2 主催 茨城県クラブユースサッカー連盟、公益財団法人茨城県サッカー協会
- 3 主管 茨城県クラブユースサッカー連盟
- 4 期 日 2024年10月～2025年2月
1次リーグ 10月26日 11月2日 11月17日 11月30日
12月14日 予備日 12月22日
決勝トーナメント 1月18日 1月25日 2月1日 2月8日
- 5 会場 県内各地グラウンド
- 6 出場チーム 38 チーム (1次リーグ)
- 7 出場資格 ① 公益財団法人日本サッカー協会に第3種加盟登録し、なおかつ茨城県クラブユース連盟に2024年度に登録したチームであること。
② 出場選手は、他のチーム (中体連含む) に二重登録されていないこと。
③ 平成22年度 (2010年度) の出生者を対象とする。 (中学2年生以下)
④ 出場チームの同一下部組織第4種 (日本サッカー協会クラブ申請済みクラブ) 登録選手に限り、種別変更 (移籍) せず第4種登録所有のまま出場を認める。但し、同一下部組織第4種登録チームを複数所有しているチームの選手登用は、いずれかの1チームからに限定するものとする。また、同じクラブ内の同じ年代の女子登録している選手も移籍を行うことなく出場することを認める。
- 8 その他 ① 上位16チームにクラブユースサッカー選手権U-15大会茨城県のシード権を与える。

2024年茨城県クラブユースサッカー選手権 (U14) 大会

【競技規則】

競技方法

- 1 予選リーグとその結果による決勝トーナメント方式とする
(1) 予選リーグはチーム数に応じたリーグ戦を実施する。(2024IFAリーグ1部1位のチームは、関東リーグ昇格戦があるため決勝Tからの参加)
(2) 決勝トーナメントは16チームによるノックアウト方式とする。(2024IFAリーグ1部1位のチームが、関東リーグに昇格した場合は参加しない)
- 2 ルールは公益財団法人日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則2024/25」による。

試合時間は、予選リーグは70分（インターバル10分）。勝ち点制。

3 決勝トーナメントは、80分（インターバル10分）とし、
勝敗の決まらない場合は、即PK戦とする。

4 雷等の荒天で試合が中断した場合、その試合が後半25分を経過し中断となり再開不可能となった場合は、その時点での結果を持って試合は成立したものとみなす。それ以前に中断し再開不可能な場合は、改めて残り時間について試合を行うものとする。なお、残り時間の試合を行う場合のメンバーは、原則として中断時の選手とする。（決勝トーナメントの場合は、後半30分を経過して中断、再開不能の場合は成立）

1次リーグについて

試合時間は、70分とする（インターバル10分）

・1次リーグ（A～G組 7組リーグ）

リーグ戦の順位決定方法は、勝ち3点、引き分け1点、負け0点の勝ち点により、勝ち点の多い順に決定する。但し、勝ち点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。

①当該チーム同士の対戦成績

②全試合のゴールディファレンス（総得点－総失点）

③全試合の総得点

④上記の①～④の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。

各組上位2チーム（14チーム）は決勝トーナメントへ進出

決勝トーナメントについて

各組上位2チーム、14チームとワイルドカード2チームの16チームで決勝トーナメントを実施する

ワイルドカードについて

・IFAリーグ優勝チームが関東リーグ昇格出来ず、現在関東リーグチームが降格の場合
上記2チームが決勝トーナメントへ出場し、1次リーグ3位組の出場は無し

・IFAリーグ優勝チームが関東リーグ昇格出来ず、現在関東リーグチーム残留の場合
IFAリーグ優勝チームと1次リーグ3位組1位が出場する

・IFAリーグ優勝チームが関東リーグに昇格し、現在関東リーグのチーム降格の場合
関東リーグ降格チームと1次リーグ3位組1位が出場する

・IFAリーグ優勝チームが関東リーグに昇格し、現在関東リーグのチーム残留の場合
1次リーグ3位組1位と2位が出場する

3位チームの順位を決定する場合、勝ち点の多い順に決定する。但し、6チーム組の場合は、最下位のチームとの勝点・得失点差をカウントしない。

勝ち点と同じ場合以下の項目に従い順位を決定する

①対象の試合のゴールディファレンス（総得点－総失点）

②対象の試合の総得点

③上記の①～②の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。

決勝トーナメントは16チームによりノックアウト方式で実施する

上位チームはクラブユース大会のシード権を与える

5 予選リーグにおいては、学校行事、悪天候（荒天）や不慮の事故等の理由による場合は期限内の

日程を調整して実施することも可とする。決勝トーナメントにおいては、悪天候（悪天）や不慮の事故等以外（学校行事等）で選手が欠ける場合も大会日程通り試合を行う

6 選手登録用紙兼メンバー表は試合開始30分前までに、先発11名に○を付けて本部に2部選手証と共に提出する。選手証は試合開始7分前に本部前に選手各自が持参し、用具とともに確認を受けること。電子登録証（写真が登録されたもの）が確認できる場合は出場を認めるものとする。選手証不所持の場合、その試合に出場できない。
本大会は、試合毎の登録は交代選手を含め25名までとし（メンバー表に25名の背番号を記入する）うち交代は9名までとする。交代出場する選手は交代用紙と選手証を本部に持参し、チェックを受けてから交代する。（再出場は認めない）なお、試合毎の登録から試合開始までの時間に、怪我など特別な理由により登録されたメンバーが当該試合へ出場することが不可能であると当該会場責任者が判断した場合のみエントリー内容を変更することができる。

7 交代の手続きは、サッカー競技規則第3条に則って行う。

（交代のすべての機会に交代用紙を使用する。交代用紙は出場チームで準備する）

選手交代回数の制限について

- ① 選手交代は、後半の交代回数を5回までとする。
（1回に複数人を交代することは可能）
- ② 前半、ハーフタイムでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。

8 ピッチサイズ：105 x 68 mを基本とする。

9 本大会ではテクニカルエリアを採用する。その都度ただ1名の役員のみがテクニカルエリアから

戦術的指示を伝えることができる。ベンチに入っている者のメガホンの使用は認めない

10 チームベンチは、会場本部席からグラウンドに向かって左側ベンチをトーナメント表の左側に表記されているチームのベンチとし、対戦チームを右側とする

11 登録選手は、必ず全員が傷害保険（スポーツ保険）に加入していること

12 選手の用具

①本大会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ・ショーツ及びソックスを試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。GKも同様

②ユニフォームに表示する広告は、日本サッカー協会の規定による。

③アンダーシャツ・ショーツについての色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する

④ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

⑤ゴールキーパーが試合中に何らかの理由で試合が続行できなく控えのゴールキーパーもいない場合、フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする際、フィールドプレーヤーが両チームのフィールドプレーヤーと容易に識別できる色のビブス着用での対応を可とする。 ※ビブスの番号は問わない。ただし、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとして出場するときは、フィールドプレーヤーのユニフォームを着用すること。

13 試合開始時刻に指導者、及び選手7名以上が揃っていないチームは不戦敗となり、相手チームの

勝ちとする。但し、天災や、不慮の事故等の理由による場合は、大会実施委員長と当該会場責任者において協議し、適切な処置を行なう。

不戦勝・不戦敗の結果について

(1)1次リーグにおいて不戦勝、不戦敗の場合は、リーグ終了後にそのリーグの最大得点差とする。

(2)試合開始後に6名以下になった場合、試合を中断し、相手チームの不戦勝とする。

(3)期限までに、何らかの理由で試合が出来ず棄権した場合は都合をつけられなかったチームの不戦敗とする。

14 選手及び役員のチームベンチの入場は、試合毎登録選手25名・スタッフ5名の30名を上限とする

15 ベンチに入る選手は、ユニフォームと異なる色のビブス等を着用する

16 試合球は各チーム持ち寄りとする

17 試合開始60分前に、記録担当がマネージャーズミーティングを開催し、要項、諸注意事項、両チームユニフォームチェック等の説明を行う
※マネージャーズミーティングには、必ずユニフォームの正・副2セット用意すること

18 試合会場では会場責任者の指示に従い、サッカー関係者としてのマナーを十分心がける

19 試合中の一切の疾病・負傷者については、各チームの責任において処置する。但し救急を要する場合を想定し、会場責任者は事前に病院等の場所を確認しておく事。選手送迎中の事故については各チームの責任において対処する

20 試合会場では、会場責任者・記録担当が試合中におけるベンチ役員及び応援の父兄等に対して、審判への抗議や行き過ぎる声援等があった場合は、積極的に注意・指導する。またサッカー関係者としてのマナーを十分心がける。

21 観客席のない会場では、ベンチと反対サイドで応援を行うこと

22 会場責任者は結果報告書に試合結果と参加費を記載し、大会事務局に即日報告する。試合の態度決定は大会実施委員長と会場責任者が相談のうえ行い、延期された試合に関しては会場責任者が責任を持って実施する。

23 飲水タイムを設けることができる。(前後半ともに半分の時間で)
飲水タイムの時間は、アディショナルタイムに追加する。最低1分。
飲水タイムは、選手に水分を補給する時間であるので、飲水以外の行為は認めない。
飲水タイムを設けるかはマネージャーズミーティングで決定する。
※ミスト発生器の使用は特に認めない

懲罰規定

- 1 主審より退場を命じられた選手及び退席を命じられた役員は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。追加的処分については（公財）日本サッカー協会懲罰基準に準拠して（公財）茨城県サッカー協会第3種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会が決定する。
- 2 本大会期間中に（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会において出場停止処分の罰則が決定されながら、本大会の終了によって残存した出場停止処分については、順次次の公式戦で適用される。
- 3 本大会で累積された警告が2回となった場合、自動的に本大会の次の試合1試合の出場停止処分を受ける。ただし、違反行為の内容によっては、追加的処分を（公財）茨城県サッカー協会第3種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会において決定する。
- 4 警告の累積は予選リーグから決勝トーナメントへは持ち越さないが、予選リーグ最終節で累積が2枚目となる警告を受けた場合は、決勝トーナメント1回戦は出場停止処分を受ける。また、累積された警告での出場停止処分及び警告の累積は、本大会終了時をもって効力を失う。
- 5 同一試合で2回警告による退場を命じられた選手は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。ただし、試合出場停止により処分されたものとし2回の警告は累積されない。本大会の終了によって残存した出場停止処分については、順次次の公式戦で適用される。
- 6 出場資格がない選手が本大会の試合に出場した場合、それが判明した時点で没収試合とし、当該チームの0-3の敗戦として試合を打ち切る。この該当チームの懲罰については（公財）茨城県サッカー協会第3種委員会内規律・フェアプレー部及び（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて協議の上決定する。
- 7 コート内外での不適切な言動や重大な違反行為及び本実施要項に記載のない違反行為に関する懲罰事項は、事実確認のヒアリングを実施の上（公財）日本サッカー協会懲罰規程に基づき（公財）茨城県サッカー協会第3種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会が決定する。

【大会登録・参加費】

参加費：会場ごとにかかる経費で決定。会場ごとに徴収。

【大会実施委員長】

岩崎 勇二（茨城県クラブユース連盟理事長）

【大会事務局】

アウルフットボールクラブ取手 山本康樹

TEL：090-4626-3398

MAIL：owlfc2006@yahoo.co.jp

【実施要項の改廃】

本実施要項は、茨城県クラブユースサッカー連盟役員会において改廃できる。

施工・改定日	令和6年8月14日施工
	令和6年9月10日改定
	令和6年9月13日改定
	令和6年9月18日改定
	令和6年9月19日改定
	令和6年9月21日改定